

ヨコレイ NOTE VOL.34

第78期中間報告書

2024年10月1日～2025年3月31日



ごあいさつ・財務ハイライト

「人」に「もの」に「地球」に“やさしい”食品流通のエキスパート

株主の皆さまにおかれましては、日ごろより格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第78期中間期(2024年10月1日～2025年3月31日)は、緩やかな回復基調が続いている一方、原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇に加え、値上げに対する消費者の節約志向の高まりのほか、米国の政策動向など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社は、2026年を最終年度とする新・中期経営計画(第II期)「繋ぐ力」を昨年度策定し、冷蔵倉庫事業では「積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、お客様へスマートコールドサービスを提供」、食品販売事業では「国内外の生産者とのネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へ」を方針としました。最終年度(2026年9月期)には「連結売上高1,500億円」「連結営業利益65億円」「EBITDA130億円」「ROE5%以上」「自己資本比率40%台を維持」とする定量目標の達成を目指し、各重点施策に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の連結経営成績は、売上高63,425百万円(前期比5.7%増)、営業利益3,042百万円(前期比11.8%増)、経常利益2,604百万円(前期比40.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益1,670百万円(前期比51.7%増)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

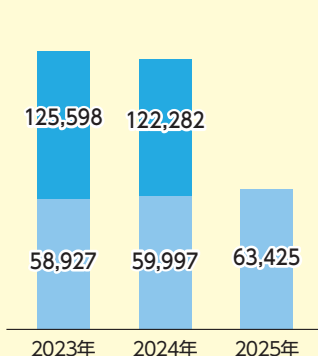


代表取締役社長 **古瀬 健児**

財務ハイライト

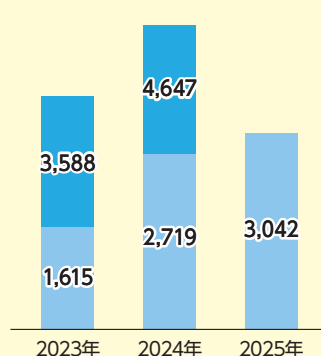
売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



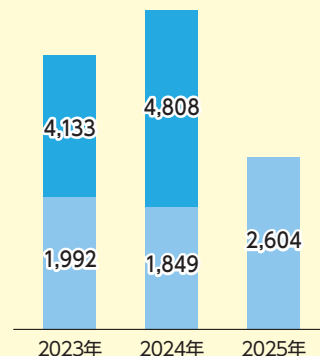
営業利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



経常利益 (百万円)

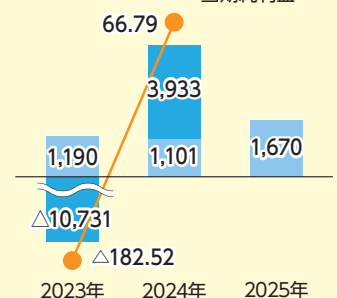
■ 中間 ■ 通期



親会社株主に帰属する

中間(当期)純利益(百万円) / 1株当たり当期純利益(円)

■ 中間 ■ 通期 ● 1株当たり当期純利益



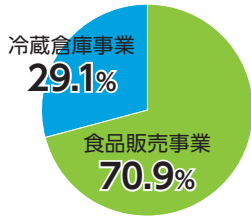


当中間期の概況

事業別売上高構成比

当中間期(2025年9月期)
売上高合計

63,425百万円



原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇、消費者の節約志向の高まり、米国の政策動向等、経済環境は先行き不透明な状況で推移。

昨年度策定した新・中期経営計画(第Ⅱ期)「繋ぐ力」について、最終年度(2026年9月期)に「連結売上高1,500億円」「連結営業利益65億円」「EBITDA130億円」「ROE5%以上」「自己資本比率40%台を維持」とした定量目標を達成すべく、各重点施策に取り組む。

事業別の概況

冷蔵倉庫事業

2024年9月期に稼働した3つの物流センター等の減価償却費負担は増加したが、前期から高い在庫水準が続き、在庫量、出荷量、在庫量すべてにおいて前期を上回る。取扱品目においては、水産品の取扱いが減少したが、冷凍食品、農産品は取扱いが増加し、増収増益。

連結子会社のタイヨコレイにおいては、在庫量、出荷量ともに増加したが、主力取扱品である畜産品、乳製品の取扱量および在庫量が減少し、増収減益。

当事業の業績は、売上高18,453百万円(前期比8.7%増)、営業利益4,331百万円(前期比9.1%増)の増収増益。

食品販売事業

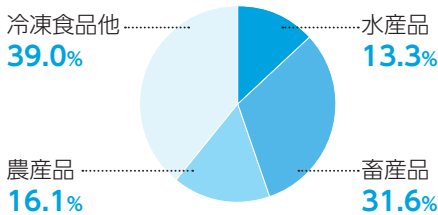
水産品は、九州方面での前浜の餌料用イワシ・サバ等が豊漁で取扱いが増加、主力のサバやタコ、エビも取扱いを増やし利益に貢献。鮭鱒等は取扱いが増加したものの減益、マグロ、サンマは取扱いが減少し、減益。

畜産品は、ポークがインバウンド需要により好調を維持。チキンは昨年より高値相場で推移し取扱いは減少したが増益。ビーフはホテル筋からの引き合いが増えたものの、売上、利益とも微増。

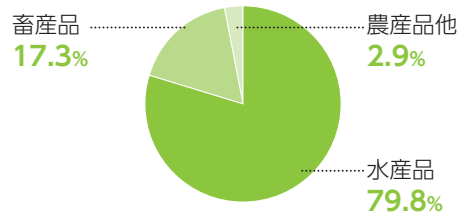
農産品は主力のイモ類を筆頭に取扱いが増加したため、増収増益。

当事業の業績は、売上高44,956百万円(前期比4.6%増)、営業利益699百万円(前期比3.3%減)の増収減益。

当中間期在庫量品目別割合

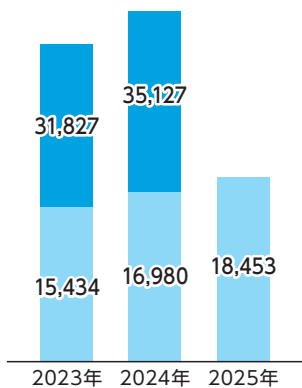


当中間期品目別売上高構成比



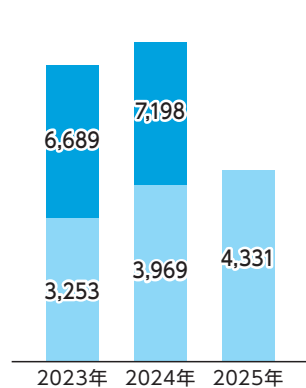
売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



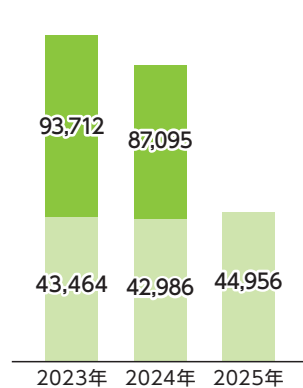
営業利益

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



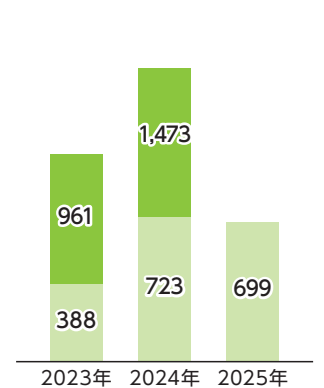
売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



営業利益

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



今期の見通しと業績予想について

冷蔵倉庫事業は、前期に竣工した3つの物流センターによる減価償却費の増加はあったものの、上期は順調に推移し、計画を大幅に上回りました。一方、下期は今期竣工した3つの物流センターにかかる減価償却費や一時経費の新たな発生により、増収減益となる見通しです。食品販売事業は、利益重視の販売と販路拡大を継続しており、今後も順調な推移が見込まれます。以上を踏まえた連結業績予想(通期)は右記の通りです。

売上高	1,270	億円
営業利益	42	億円
経常利益	41	億円
親会社株主に帰属する当期純利益	28	億円
1株当たり当期純利益	47	円54銭

What's ヨコレイ

VOL.13
ベトナム物流センター



ベトナムベトナム物流センター竣工

当社はこのたび、ベトナム・ロンアン省ベトナム物流センターのフーアンタン工業団地 (PAT) に「VIETNAM YOKOREI ベトナム物流センター」を竣工いたしました。

当センターは、ヨコレイグループ最大規模の冷蔵倉庫であり、収容能力約45,000トン、収容パレット数は約18,000枚です。設備面では、当社が長年培ってきたノウハウを取り入れるとともに、ヨコレイグループ初の自動倉庫(自動ラック)を採用し、省人化・省力化を実現しました。また、省エネ設備として、グループ最大級の大容量太陽光発電設備880Kw、冷蔵庫棟・事務所棟全館にLED照明を導入しています。当社にとってベトナム初進出となる当センターは、最新鋭の次世代型冷蔵倉庫として、今後の物流サービスのさらなる向上に貢献してまいります。



ホーチミン市と、
ベトナム南西部の
メコンデルタ地区を繋ぐ
物流拠点



■ ベトナム現地法人の概要

社名	日本語：ベトナムヨコレイ有限公司 ベトナム語：Công ty TNHH Việt Nam YOKOREI 英語：VIETNAM YOKOREI COMPANY LIMITED
設立	2025年3月
所在地	ベトナム ロンアン省ベトナム物流センターフーアンタン工業団地内
資本金	306,085百万ベトナムドン (約18億円)
代表者	代表取締役社長 関 晋也
事業内容	冷蔵倉庫業
株主	横浜冷凍株式会社 (100%出資)

■ VIETNAM YOKOREI CO., LTD. ベトナム物流センター

住所	ベトナム ロンアン省ベトナム物流センターフーアンタン工業団地内 Lot B18-1, B19-1, B20-1, B21-1, Doc 2 line of Phu An Thanh, Road 830, Ben Luc Long An, VIETNAM https://www.vietnamyokorei.vn/ (英語ページ) https://www.vietnamyokorei.vn/ja (日本語ページ)
構造・規模	鉄骨造平屋建て 敷地面積：45,812㎡ (13,858坪) 延床面積：17,125㎡ (5,180坪) 建築面積：17,125㎡ (5,180坪)
収容能力	45,317t (約18,000/パレット)
主な設備	自動ラック設備 (約15,000/パレット)、大容量の太陽光発電設備 (880Kw)、 カーナビゲーションシステム&電動式移動ラック、フードディフェンス対応 (入退館・ 監視カメラシステム)、省エネ型自然冷媒冷凍機、陽圧空調システム 他

健康経営優良法人2025(大規模法人部門)に認定されました

ヨコレイは、2025年3月10日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。
 当社は、働く社員の心身の健康増進に向けた健康支援体制、各種健康施策に取り組んで来ました。そして、2023年4月の「健康経営宣言」において、社員が最も重要な財産であると考え、生き生きと働ける環境を整備するとともに、社員と、その家族を含めた心身の健康づくりのサポートを表明いたしました。
 今後も認定取得を継続していくため、健康支援体制および各種健康施策等をブラッシュアップしていく所存です。



株主還元方針

■ 配当方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の実施を重要な経営課題の1つとして認識し、企業価値向上に必要な設備・IT投資等を勘案しつつ、安定的な配当を継続して行くことを基本方針としています。

1株当たり年間配当金
24円 (中間配当金 12円)
 予定

■ 株主優待

株主の皆さまからの日頃のご支援に対する感謝と、ヨコレイグループの事業内容へのご理解をより一層深めていただきたいとの思いから、年1回、以下の基準にて、ヨコレイグループ取扱商品を使用した株主優待を実施しています。

ご優待内容*1および対象となる株主様

① 3,000株以上かつ1年以上

保有の株主さま*2

▶ 「北海道産のホタテ・いくらセット」

② 1,000株以上~3,000株未満かつ1年以上

保有の株主さま*2

▶ **リニューアル予定**

*2024年9月期実績：
 ノルウェー産サーモントラウト製品詰合せ

*画像は2024年9月期実績

●実施時期
 11月
 下旬頃～



*1 ご優待内容は2024年9月期の実績です。内容・パッケージ等が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
 *2 9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された当該株数保有の株主様のうち、1年以上同じ株主番号で継続して当社株式を保有されている株主様が対象となります。

ホームページのご紹介

▶ <https://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかる財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツをご用意しております。
 また、環境への取り組みや社会貢献活動、コーポレートガバナンスなど、ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みに関する情報も掲載しております。
 ヨコレイでは、今後もさらにわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



TOPページ

会社情報・株主メモ (2025年3月31日現在)

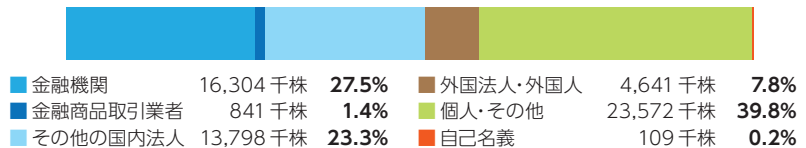
会社概要

会社名 横浜冷凍株式会社
 本社所在地 〒220-0012
 横浜市西区みなとみらい三丁目3番3号
 横浜コネクスクエア10階
 TEL: 045-210-0011 (代表)
 FAX: 045-210-0018
 設立 1948年5月13日
 資本金 14,303,426,625円
 従業員数 連結 1,735名 単独 1,380名

株式の状況

発行可能株式総数 …… 160,000,000株 株主数 …… 16,737名
 発行済株式の総数 …… 59,266,684株

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月
基準日	定時株主総会の議決権 9月30日
	剰余金の期末配当 9月30日
	剰余金の中間配当 3月31日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
公告の方法	電子公告 ※電子公告は当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 https://www.yokorei.co.jp/investors/publication/index.html

単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所(プライム)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	東京都府中市日鋼町1-1
	電話 0120-232-711(通話料無料)
	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。